

# 2018 グランドソフトボール競技ルール改正について

NPO法人ふれ愛びっく大阪クラブ

2018年1月28日、名古屋市氷室住宅集会場で、全日本グランドソフトボール連盟「ルール検討委員会」金野 守委員長から、2018年度年から適用される「グランドソフトボール競技」の改正ルール説明があった。

その説明を受け、ふれ愛びっく大阪クラブが要約をまとめたものです。

## <主な改正点>

### 1 ユニホーム

同一チームの監督・コーチャー・プレイヤーのユニホームは、同色、同意匠でなければならない。

ユニホームに付ける登録番号、意匠等の色に関しては、見づらいものでなければ特にこれを定めない。

全盲プレイヤーは、幅8cm以上のユニホーム袖口の色と区別のつきやすい単色（黄色意外）の標示物を両袖に付ける。

### 2 フェアプレイ、スポーツマンにふさわしい行動

すべてのチームメンバーは、フェアプレイ及びスポーツマンにふさわしい行動をしなければならない。

<ペナルティー>

- ① 違反者は退場。
- ② ディレードデットボール

### 3 指名打者（DH）

指名打者とは、打撃専門のプレイヤーをいう。指名打者（DH）は全盲・弱視いずれか1名ずつの採用をすることができる。

（1）指名打者は、全盲・弱視それぞれどの守備につけてもよいが、試合開始前に打順表に登録しなければならない。

（2）指名打者は、試合途中から採用することはできない。

（3）指名打者は、試合中いつでも解除することができる。

① 監督は球審に、指名打者が守備につくか、守備者が指名打者の打順を受け継ぐかを通告しなければならない。

② 指名打者または守備者は、スターティングプレイヤーであっても、指名打者の解除により試合から退いた場合は再出場できない。

### 4 コーチャー

- (1) コーチャーは走者が安全に走塁するために、助言や指示を与えることができるが、全盲野手に打球処理の機会があるときは、大きな声や連呼、必要以上の手ばたき等の行動で、妨害してはならない。
- (2) 全盲打者走者・全盲走者に対するコーチャーの誘導は、連続した手ばたきとする。
- (3) 身体の一部をコーチャーズボックス内に置いておれば、全盲打者走者・全盲走者の身体に触れて誘導してもよい。
- (4) 弱視打者走者・弱視走者に対する手ばたきによる誘導は認めない。
- (5) 器具等を用いて誘導はしてはならない。

＜ペナルティー（１）～（５）＞

- ① ボールデット
- ② 当該打者走者または走者はアウト。
- ③ 走者は進塁できない。

## 5 故意四球

守備側が、投球せずに故意に打者を一塁に歩かせるため、投手が球審にその旨を通告することをいう。

- (1) 通告は打席の初めでも、いかなるボールカウントでも行うことができる。
- (2) 通告は投球とみなされ、四球を与えるのに必要な投球数がカウントされる。
- (3) 故意四球が適用されると、ボールデットになり走者はフォースのとき以外は進塁できない。

## 6 打者が他の攻撃側のメンバーのためにアウトになる場合

- (6) コーチャーボックス外のコーチャーに打球が触れたとき、また、コーチャーズボックス内のコーチャーが故意に打球に触れたと審判員が判断したとき。ただし、コーチャーズボックス内のコーチャーに偶然打球が触れたときはインプレイである。

## 7 打者走者が守備妨害でアウトになる場合

- (5) 妨害が審判員の判断で、明らかに併殺を邪魔しようとしたものであれば、併殺対象の走者もアウトになる。

## ＜その他改正点＞

### 1 競技場

諸線の数値を、実際のライン引きで活用できるよう、四捨五入により数値を変更とした。

プレイヤーズベンチは、グラウンド境界線外側の場所で、競技場の左右に設け、その区画を明確にする。

### 2 守備位置

野手（投手を除く）は打者の打撃行為が完了した後でなければ、投手板より前に出て守備してはならない。

### 3 正しい投球準備動作及び捕手の諸動作

捕手の合図（手ばたき）終了から5秒以内に投球動作に入る。ただし、捕手の合図（手ば

たき)中は、投球動作を起こしてはならない。

4 進塁及び逆走塁の順序

5 走者が守備妨害でアウトになる場合

全盲走者が走路上をはずれて守備している野手に接触したとき。

6 守備者の制限

弱視野手は左遊撃手を除き全盲打者に対し、投球時に内野地域へ入ってはならない。全盲打者の内野地域への打球処理をできる内野手は、捕手と左遊撃手のみである。ただし、触塁していても内野地域へ入っているとはみなさない。

守備側は全盲野手に対する打球の方向指示はしてはならない。ただし、打球の放たれた瞬間に各野手がポジション名や選手名を言うことを認めるが連呼をしてはならない。(守備についている全盲野手を除く)

7 ボールデット (試合停止球)

条項の整理

8 ボールインプレー (試合進行球)

条項の整理

9 用語の定義

新規規定